



- P2 特集「新設小学校への<sup>おも</sup>の想いを語る」
- P3 6月議会概要、賛否一覧
- P4~11 一般質問で町政を問う
- P12 常任委員会活動報告
- P13 全国議長・副議長研修会、最近の議会活動
- P14 要望書、編集後記

令和4年 **6** 月議会  
第**69**号

# 議会だより

■ 標題は北明小学校6年 <sup>しまのえかほ</sup> 島江花歩さんの作品です



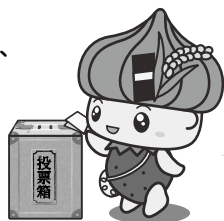
■ 標題は白石小学校2年 <sup>かわさきるか</sup> 川崎 瓊花さんの作品です。テーマは「ふじの花とさくらの木」

# 6月定例議会概要

6月定例議会は、6月7日から14日までの8日間で行いました。

町長から、令和4度の補正予算や条例改正、規約の変更など4件の議案が提出され、各議案は審査を経て可決しました。

一般質問は8人が行い、農業振興、治水対策、定住促進、学校の統合再編、行政サービスのデジタル化などについて、執行部の考えを質しました。



令和4年6月議会定例会には、31人の傍聴者にお越しいただきました。感染症対策のため、傍聴席の数を制限しております。皆さまの御理解をお願い申し上げます

## 賛否一覧

賛成 …… ○ 反対 …… ● 欠席 …… 欠

議案番号	結果	吉岡	岸川	友田	重富	中村	定松	前田	溝口	大串	吉岡	草場	井崎	内野	西山	溝上
		正博	信義	香将雄	邦夫	秀子	弘介	弘次郎	誠	武次	英允	祥則	好信	さよ子	清則	良夫
5月臨時会	18 専決処分の承認(税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19 専決処分の承認(国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20 専決処分の承認(令和3年度一般会計補正予算(第11号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	21 専決処分の承認(令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22 学校施設環境改善交付金事業町立中学校校舎・体育館改修工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23 令和4年度一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6月定例会	24 議会議員及び町長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用のポスター等の作成の公営に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	25 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	26 佐賀県市町総合事務組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	27 令和4年度一般会計補正予算(第2号)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

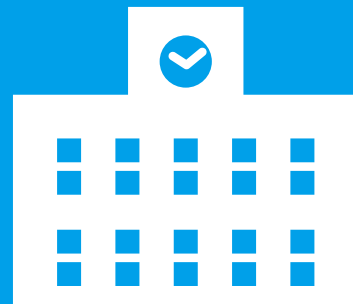
※議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が裁決権を行使します。



●新採職員の議会傍聴の研修



# 新設小学校への おも 想いを語る



白石町立学校の統合再編については、学校規模の問題、学校教育法施行規則、小中学校の設置基準等の法令、本町の現在の小中学校の規模や地理的状况、今後の人口予測等、様々な事を勘案した結果、白石町立小中学校の学校規模および学校のありかたについて「学校統合再編審議会」より以下の通り平成31年4月24日に答申が示された。

『学級数を12～18学級が望ましい（小学校：各学年2～3学級、中学校：各学年4～6学級）』

**中学校：1校が望ましい** 『3中学校を統合し、現在の白石中学校の所に新設中学校を置く』

**小学校：2校が望ましい** 『有明地域の3小学校を統合し、新設小学校を現在の有明中学校に置く（令和8年度開校）

白石地域・福富地域の5小学校を統合し、新設小学校は新たに用地を取得した場所に校舎等を建設する（令和10年度開校）』

答申をふまえ、中学校はすでに答申の内容に基づいて令和6年度開校を目指し適宜進められている。小学校については今年度具体的な方針が打ち出される予定となっている。

その点をふまえ、議員間でも統合再編に向けての意見を出し合った。



## 各議員の意見

※同意の意見はまとめています。

- 1年生～4年生までは分校で対応するといった対応は出来ないのか。通学距離が遠すぎる。
- 大規模になることで先生が目が届かず、先生が減ることにより従来にくらべ生徒に対して手薄になる。小学校は地域コミュニティの根幹なので3校がよいと考える。
- 通学手段の徒歩やバスなどの基準となる距離については柔軟に対応する必要があるのでは。
- 少人数学級は先生が目が行き届きやすい。令和8や10年度に統合するといった答申の方針に縛られず、ゆっくり考え、今の学校を利用する範囲で統合してみて、それからまた考えてもよいのではないか。
- 不登校の生徒が学校に復帰できる環境には、クラス替えが出来る体制は必要。
- 少人数学級は学力の伸びが小さい傾向にある。ある程度の生徒数がいて、刺激しあう環境が必要。
- 我々は答申を尊重する立場。答申時より出生数の減少が加速している中で学校数の数は議論の余地があると感じるが、統合の年度については厳格に守らないと、すでに関係する保護者はそれを見越してライフプランを組んでいる。
- 小学校の場合学級担任制なので適正規模にこだわるよりも地域の中で育つ方が重要だと思う。
- 最終的に小学校も1校になると思う。地域の振興は学校ばかりではない。

## 議員間討議を終えて

今回の小学校統合再編に向けた課題が改めて共有された。我々議会として答申を尊重する立場であるが故に、執行部側に少しでも早く今後の方針を打ち出すよう今後も強く要望を行っていく。

**問** 転作大豆を増産すべきでは

**答** 関係機関と協議し支援をしていく

**議員** 米価下落や生産資材の高騰により農家は厳しい経営状況にあり収益が見込まれる転作大豆を増産すべきでは。

**農業振興課長** 米価の上昇が見込めない状況では大いに推進していくべきである。

**議員** 白石町農業再生協議会において自主的に転作率を上げることはできないのか。

**町長** 作付面積拡大をはかり関係機関と協議して支援していく。

**議員** タマネギの価格はかつてない高値で販売されており、次年度作付に向けて収穫機等の導入に係る補助金申請の対応は。

**議員** 商品券給付事業の発行は昨年の事業では大型店に偏っており、地域経済の活性化のためにも個人店と大型店を区別した方がより良い効果が望まれるのでは。

**農業振興課長** 6月末をめどに要望を上げて頂くよう周知をしております、県に最大限の要望をしていく。

**議員** 線状降水帯の予測が半日前より情報を開始されることから、水路の事前排水が重要で円滑にいくためにも強制力のある治水対策に特化した条例の制定が必要ではないのか。

**総合戦略課長** 今回の方針転換は難しく次回からは、条件が合えば取り入れたい。

**問** 治水対策条例の制定が必要では

**答** 町で行うことは困難である

**議員** 流域治水推進事業の調査分析の結果を見て今後の治水対策スケジュールはどのようになるのか。

**建設課長** ロードマップを作成し短期、中期と合わせてスピード感をもって取り組む。

**議員** 線状降水帯の予測が半日前より情報を開始されることから、水路の事前排水が重要で円滑にいくためにも強制力のある治水対策に特化した条例の制定が必要ではないのか。

**議員** 過去3箇年で事前排水の要請は何回あったのか、町内全域で円滑に出来ている認識はあるのか。

**農村整備課長** 28日間で41回の放送を行っている。概ね円滑に出来ているが、地域によっては慣習・慣例等と思うようにできていない箇所もある。

**農村整備課長** 円滑な事業排水の取り組みについては、用排水調整協議会においてお願いしており、地元操作員は、強い責任感を持って排水調整に取り組んで頂いており、年を追うごとに成果が表れている。

**副町長(内水対策統括監)** 内水対策プロジェクトチームを立ち上げ連携を強化して内水対策に取り組む。



●関係機関との河川合同巡視



井崎 好信 議員





西山 清則 議員



ただけるよう移住・定住支援に努めていく。

**議員** 有明海沿岸道路の開通後は、車や人の流れも大きく変化しており、佐賀市への通勤の利便性も向上している。若者世代の移住・定住促進を進めるには、住宅用地の確保が必須では。

**総合戦略課長** 福富

IC周辺は住宅用地としての利便性が増している。しかし、町内の大部分が農業振興地域内の農用地に指定されており、今後、宅地造成事業は公共施設の再編計画や跡地活用との調整を図りながら進める。

**議員** 子育て世代が安心して子育てができる環境の整備や子

育て支援など周辺の市町に負けない施策の展開とPRが必要ではないか。

**保健福祉課長** 本町

は、「子育て相談」「経済的支援」「共働き世代のための支援」など、子どもを産み育てやすい環境づくりを行っている。町内外に向け、子育て支援のPRにも努めていく。

**議員** 災害の少ない

町としてのPRや若者世代への情報発信などの取り組みは。 **農村整備課長** 総合的な治水対策を行い、「住みやすい町づくり」「安心して農業ができるまちづくり」への取り組みをPRしたい。

**問** 稼げる農業と農業人口を増やすためには

**答** 地域をリードしていく担い手の育成が急務

**議員** 首都圏を中心とするPR活動をこれまで以上に強化し、稼げる農業の展開と農業人口を増やすなどを目指していくことが必要では。

**農業振興課長** 産地を維持していくためには稼げる農業の確立、人材不足を補うための機械化による省力化、地域をリードしていく担い手の育成が急務である。

**問** 須古城跡地に龍造寺隆信像の建立を

**答** 国史跡指定に合わせて実施することが効果的

**議員** アフターコロナを見据えた観光資源の開発に取り組んでおく必要がある、目玉施策として、須古城跡地に龍造寺隆信の像を建立しては **商工観光課長** 現在のところ事業計画の予定はない。令和2年度より、須古城跡の国史跡指定に向けた準備が進められており、PRする施策を計画するのであれば、国史跡指定に合わせて実施することが、最も効果的ではないかと考えている。

**問** 若者世代の移住・定住促進を

**答** 移住・定住支援に努めていく

**議員** 人口減少を抑制するためには、若者世代の転出者を減らすとともに、新たに多くの方が白石町に住んでいただけるよう、具体的な考えは。

**町長** 「住まいるし

ろいし 応援事業」を創設した。また、移住支援として、「さが暮らしスタート支援事業」、新婚生活の費用を支援する「新婚生活支援事業」に取り組む。白石町に多くの人が住んでい



中村 秀子 議員

**問** コロナ禍の熱中症対策は

**答** 屋外では人と2m以上確保できる場合や、会話をほとんどしない場合はマスクを外す、水分補給等予防の啓発に努める

**議員** 国から登下校時や屋外での活動時にはマスクを外すように指針が示された。本町での指導は。

**主任指導主事** 屋外では人と2m以上確保できる場合や会話をほとんどしない場合はマスクを必要としない事を指導する。

水分補給や冷房の適切な使用と換気等、熱中症リスクの高い夏場は熱中症対策を優先していく。

**議員** 例年高齢者の熱中症が多いが対策は。また、緊急通報システムの周知と利用促進を。

**長寿社会課長** 包括支援センター職員が高齢者宅の訪問に際し室内の温度管理、こまめな水分補給や塩分摂取等呼びかけを行う。緊急通報システム、以前は70件であったが、現在30件貸し出している。要件については申請者の状況を踏まえ柔軟に対応している。他のサービスの利用をされていることもあるが、周知に努めたい。

**問** 新白石中学校の開設に向けての準備状況は

**答** 現在仮設校舎を建設し夏休みに引っ越しを行う。その他ソフト面については検討中である

**議員** 新白石中学校の通学路及び通学方法は。

**学校教育課長** 準備委員会では検討中である。遠距離通学者に對してはスクールバス支援を行う。対象者は6.5km以上の生徒としている。通学路は現在検討中であるが幹線通学路は点検を実施し安全対策を行う。また、電動アシストサイクルを除く外はしない。



●白石中学校付近の通学路点検

**議員** 中学校の統合の大きな理由であった部活動の問題であるが、部活動の地域移行を踏まえ部活動の設置の方針は。

**学校教育課長** アンケートの結果、多様化と多志向と言える。スポーツ庁から示された、部活動の段階

的地域移行の指針を踏まえ検討を行う。令和6年にいきなり合同になって混乱を起こさないように、順次、各種目で合同練習や合同チームでの試合を行い生徒同士の交流をしていく。

**議員** 校則についてスムーズな統合を行うためには本年度生徒や保護者も加わった話し合いを行い来年度はそれによる活動を行う事が望ましいと考えるが進捗状況は。

**学校教育課長** 校則については生徒と保護者、教職員が話し合う機会を設ける等、何らかの形で参加できるように工夫し取り組む予定である。



重富 邦夫 議員



**問** 新採職員に対して、まちづくりの観点からどのように指導されたのか

**答** 人口減少に関して事前研修を実施した。知恵を出し合い貢献してくれると思う

**議員** 深刻な人口減少が町の活力をなくしている。定住促進を推進する立場の町職員の認識はどう変わったのか。

**町長** 全職員を対象に地域と行政職員の関わりを考える研修を実施した。地域との関わり大切さを理解させ、定住促進の意識醸成につなげた。

**議員** 新しく採用された職員に対して、まちづくりの観点からどのように指導されたのか。

**総務課長** 採用前の3月に事前研修を実施し、人口減少に関する講義とグループワークを行ない意見を出し合ってもらった。今後も知恵を出し合い、町の発展に貢献してくれるものと思っている。

**議員** 避難所運営や災害時のマンパワーの確保は。

**総務課長** 災害発生直後の初動体制の強化、民間団体との連携と支援をいただきながら、災害対応にあたっていきたい。

**問** デジタル人材の育成は

**答** 町民サービスの向上につなげる人材育成を行いたい

**議員** 町が目指すデジタル化の姿は。

**総務課長** 白石町DX推進方針（仮称）を今後策定したい。デジタル技術を活用した行政事務の効率化や町民の利便性の向上を進めながら、地域課題の解決や事業の創出を推進したい。

**議員** DX推進のためのマネジメント体制の構築とデジタル人材の育成は。

**総務課長** DX推進統括監である副町長をトップとしたマネジメント体制の整備を検討している。

デジタル人材の育成に関しては、町民サービスの向上や業務の効率化につなげることが出来る人材の育成を行いたい。

**議員** 災害情報のデジタル化は。

**総務課長** 防災行政無線の機器更新を控えているので、先進自治体の事例を参考に、防災行政無線との連携など独自の防災アプリの研究を進めていきたい。



●マイナンバーカード申請受付中！





吉岡 正博 議員

**問** 白石町農業を町長はどうとらえているか

**答** 白石の基幹産業、今後も振興していく

**議員** 今年の玉ネギ

高値による経済効果は飲食店や農機具店、整体やマッサージ店、係まで及ぶとの話で、「やっぱり白石町にとって農業は、町全体が潤う基幹産業だな」

と思う。町長は、白石町農業をどうとらえ、具体的政策を行うのか。

**町長** 農業は白石の基幹産業、今後も継続し振興していく。

農業後継者の育成は白石農業塾など。

現産品ブランドの確立で農産品のPR活動。新たな産物の創造は「璃の香」、6次産業の推進は76品目。基盤整備は水路整備など行っている。

**議員** 農業の生産資材高騰対策は。

**農業振興課長** 国・県で検討されている。動向を注視したい。

**議員** 国を待つではなく、積極な働き掛けが必要。町長は佐賀県の町村会長などで期待する。

ウクライナ情勢下の麦政策は。

**農業振興課長** 国の事業を活用し、作付け拡大、単収・品質向上を推進したい。

農業後継者の育成は白石農業塾など。現産品ブランドの確立で農産品のPR活動。新たな産物の創造は「璃の香」、6次産業の推進は76品目。基盤整備は水路整備など行っている。

**問** 「七タこしひかり」作付けが減少しているが

**答** 流通や営農指導を担うJAと協力し守る

**議員** 米・大豆の次

期作支援事業の補助率4割を、補助率の考え方から6割にできるのでは。5月臨時議会で増額を「検討する」答弁だったが。

**農業振興課長** 米価下落の支援は、県内で白石町のみ。検討したが、今後は資材高騰対策に重点を置く。

**議員** 「七タこしひかり」は白石町にとつてどのような存在か。作付けが減少しているが。

**議員** せっかくの玉ネギ高値も、作付けが高齢化のため減っている。農地の維持のためにも機械化の推進・助成が必要。親元就農の支援が少なくと意見がある。まず親元就農、家業である農業の後継者

**町長** 白石町独自のブランド。減少に歯止めを掛けられれば。

**農業振興課長** 流通や営農指導を担うJAと協力しブランドを守る。

**問** 親元就農の支援が少ないと意見があるが

**答** 要件緩和もある相談いただきたい

**議員** せっかくの玉ネギ高値も、作付けが高齢化のため減っている。農地の維持のためにも機械化の推進・助成が必要。親元就農の支援が少なくと意見がある。まず親元就農、家業である農業の後継者

育成が第一と考えるが。  
**農業振興課長** 新規事業が創設されている。要件のハードルは高いが、今後周知を図っていく。要件緩和もあるのでまずは、ご相談いただきたい。







友田 香将雄 議員



**問** 保育の多様化するニーズの受け皿確保について早急な協議を  
**答** 町と各保育園と一緒に対応をしていくために、今後十分に議論を重ねる

**議員** 休日保育や医療的ケア児の受け入れ等、多様化する保育ニーズについての課題は、ニーズ把握をどうするのか。

**保健福祉課長** 休日保育は職員数の減少やニーズが少ない等で令和3年度より休止している。少数のニーズにおけるサービスの提供は必要と

認識している。ニーズ把握については今後の検討課題である。

**議員** 今回の、町内保育園有志からの要望書提出は、多様化する保育ニーズの受け皿における本町の具体的方針が示されておらず、関係各所による協議を丁寧に行われていない事が原因。早急かつ丁寧な協議を。

**保健福祉課長** 説明は十分でなかったかもしれない。少数のニーズについても、町と各保育園と一緒に対応をしていくために、今後十分に協議を重ねていきたい。  
**議員** 子ども達が安心して遊べる屋内遊戯施設の確保を。

**保健福祉課長** 町内に小学生以上が利用

できる屋内遊戯施設はない。学校跡地の活用として検討していく。

**議員** 白石共立病院の小児科確保の取り組み状況は。

**保健福祉課長** 地域の医療体制は最低限確保できている。共立病院の小児科医の確保について強い要望は現在行っていない。

**議員** 子育て支援のアンケート結果で「子どもが安心して医療機関を受診できる体制を整えてほしい」がトップにあるが。

**保健福祉課長** 町として重要性は十分認識している。今後要望について検討する。

**問**※ DXを積極的に取り組んでいくために専門部署の創設を

**答** 施策に応じて検討。他の自治体に後れを取らないよう取り組んでいきたい

**議員** DX推進について重要性の認識は。

**総務課長** 今後、推進方針を策定し役場全体として取組む。

**議員** DXは各自治体今後必ず行うべきものであり積極的に取り組むべき。中長期的展望は。

**総務課長** DXへの対応は待ったなしである。令和7年度末までを推進方針の期間として考えているが必要に応じて適宜見直す。

**議員** 学校現場のDXにおける議論を本格的におこなうことができないか。

**学校教育課長** DXは教職員の負担軽減や生徒の教育にも大きくかわる。デジタル教科書は有償であるなど問題もあるため、財政状況を見て検討していかねばならない。

**議員** 積極的にDXに取り組んでいくため専門部署を創設する必要があるのでは。  
**副町長** 今後、施策に応じて検討していきたい。他自治体に後れを取らないよう取り組んでいきたい。

※DXとは  
 デジタル・トランスフォーメーションの略称

**問** がん検診受診率を上げるためには

**答** 特定健診事業でAー活用勸奨通知を行い効果を見ながらアプローチしたい

**議員** 特定健診と共  
にがん検診が実施さ  
れているが、白石町  
ではがんの一次予防  
として、どのような  
啓発が行われている  
か。

**保健福祉課長** 禁煙  
や食生活等の生活習  
慣を見直すことや適  
度な運動も効果的で  
あり、出前講座等を  
実施している。



内野 さよ子 議員



また、小中学校で

の防煙教室、子宮頸  
がんワクチンの積極  
的勧奨、胃がんピロ  
リ菌検査、肝炎ウイ  
ルス検査などを行っ  
ている。

**議員** 二次的予防と  
して、早期発見や、  
がん検診などが行わ  
れているがその受診  
率は。

**保健福祉課長** 令和  
3年度は肺がん21%、  
胃がん10%、大腸が  
ん17%、子宮がん14  
%、乳がん13%であ  
った。

**議員** 受診された方  
の中で要精密検査を  
されている方があり、  
受診勧奨は必要と考  
える。また、これま  
で検診を受けておら  
れない方などへの受  
診勧奨はどうしてい  
るのか。

**保健福祉課長** 受診

率向上に向け、通知  
をするタイミングな  
ど勧奨の仕方が重要  
である。効果的にし  
ていきたい。今年、  
特定健診事業のAー  
を活用した勸奨通知  
を行うが、この効果  
を見ながらアプロー  
チをしていきたい。



●住民健診の相談は保健福祉課へ

**問** 災害時の個別避難計画の策定は

**答** 民生委員の協力により意向調査をしている

**議員** 国は災害時に

コロナ禍の中では、  
ホテル、親戚、友人  
宅へ避難していただ  
くなど推奨されてい  
る。指定避難所外の  
地区内の公民館やお  
寺などに避難するこ  
とも考えられるが、  
支援などの考え方は。

**議員** 届け出避難所

のような事例もある  
が、運営ルールを決  
めてやればできるの  
ではないか。

**総務課長** これから  
研究していきたい。

**議員** 要配慮者の支  
援は重要であり、自  
力で避難できない避  
難行動要支援者名簿  
の作成は義務付けと  
なっている。また個  
別避難計画について  
はどうするのか。

**長寿社会課長** 民生  
委員の協力を得て意  
向確認調査を行って  
おり、今後取組んで  
いく。

**総務課長** 差  
し迫った場  
合、避難所以  
外の避難は考  
えられない。指  
定避難所と同  
じような支援  
は難しいかも  
しれないが、  
要望があった  
場合は可能な  
限り支援を行  
っている。



岸川 信義 議員



**問** 内水対策プロジェクトチームの対応は

**答** 大雨での排水対策は、スピード感をもち対応したい

**議員** 内水対策プロジェクトチームの体制はどの様になるのか。

**副町長(内水対策統括監)** 私と総務課、建設課、農村整備課の12

名による組織となる。今後の内水対策全般について、より効果的な治水対策を目指す。豪雨災害時には全職員で取り組む。

**議員** ゲート操作員やポンプ役員及び地域との連携は。

**農村整備課長** 排水

対策では、地域と行政の連携は不可欠である。今年の5月下旬に町内の300名以上の関係者と地域ごとに排水調整協議会を行った。その中で、令和元年・3年の検証を行い、上流から下流まで一体となった排水体系が整うようきめ細やかな治水対策の強化に努める。

**議員** 治水対策の名称はどう決まったのか。また、その内容は、いつ議会に示されるのか。

**建設課長** 本年6月中に名称を決定したい。また、議会へは7月中に示したい。

**問** スマイル商品券給付事業の目的は

**答** コロナ禍対応と物価高騰に対する

町民への支援である

**議員** 1人当たりの給付額及び総額は。

**総合戦略課長** 1人当たり5千円で、総額約1億2千万円の事業となる。

**議員** 使用期間と利用できる店舗の種類は。

**総合戦略課長** 使用期間は、8月1日から12月31日まで。また、利用店舗の業種に特別な制限はしていないので、登録店舗で幅広く利用してほしい。

**問** 空き巣被害や熱中症の事例は、防災行政無線やケーブルテレビで速やかに町民に知らせるべきでは

**答** 警察署や消防署と密に連携を取り合いながら進めたい

**議員** 空き巣があった場合は、早く町民に知らせ、防犯意識を高めて再犯を防ぐべきではないか。

また、熱中症があった場合も、早く知らせることで、個人家族・職場の熱中症対策が出来るかと考え

られるので、早く町民に知らせてほしい。**総務課長** 警察署や消防署と連携し、防災無線やケーブルテレビなど多くの手段を用いてお知らせすることが大事であると考えている。



●岸川信義議員持込資料

## 総務常任委員会

### 自治体DXを学ぶ

5月11日、自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)に関するセミナーを受講した。全国的に自治体業務のデジタル化の研究が進む中、デジタル化の必要性と費用対効果、インフラ整備、情報の共有などの大切さを学んだ。行政サービスのデジタル化により、住民の利便性はもとより、浮いたコストや職員を住民相談業務に多く配置できることなど多くのメリットが考えられることがわかった。

総務常任委員会では、行政サービスのデジタル化を他市町に遅れることなく、防災などにも活用できるように研究を重ねていきたい。



●自治体DXの研修

## 文教厚生常任委員会

### 学校教育課との意見交換

5月10日、新設中学校施設事業、新給食センター建設事業、小学校再編について執行部との意見を交わした。

新設中学校での特別支援教室への配慮や、給食センター納入業者の調整、調理員不足などの課題があった。小学校再編では、予想を上回る少子化の進行、発達障害児童の増加などの問題もあることが分かった。

文教厚生常任委員会では、未来ある子ども達のため、安心して学習できる環境整備について意見を伝えていくことが必要であると認識した。



●学校教育課職員との意見交換

## 産業建設常任委員会

### 施設園芸の現場視察

5月19日、施設園芸振興に関する調査として、新開地区内にある事業者の農地集積の概要、経営作物の出荷状況など意見交換を行った。

事業主は、各種スーパーとの契約による野菜の計画的出荷、外国人雇用、洋菓子店経営など多角的に事業に取り組みれていた。

また今後は、璃の香栽培や、農福連携事業にも取り組みたいと非常に意欲的であった。

産業建設常任委員会では、意欲的な経営者に対して、行政からの支援を続けることができるよう提言をしていきたい。



●事業者から説明を受ける

## 全国町村議会議長・副議長研修会

5月30日、東京都内で開催された全国町村議会議長会主催の令和4年度町村議会議長・副議長研修会に、片渕栄二郎議長と内野さよ子副議長が参加した。

立正大学社会共生物学部教授の江藤敏明氏の講演では、全国的に議員のなり手不足が問題となっていることについて、議会の危機であり住民自治の空洞化も促すことが課題とされた。なり手不足の要因としては、住民へ議員の魅力が伝わらないことや低い議員報酬、地域力の低下などが要因となっているとされた。

また、なり手不足の問題解消は、一朝一夕には達成できないが、新しい層である女性や若者の開拓、報酬増額などの条件整備の正攻法を着実に進めるしかない。後継者を議員個人に任せるだけではなく、立候補者の掘り起こしを議会として取り組むことも重要であると申されたとのこと。本町においても、議会・議員の魅力が伝わるような活動を続けていくことが求められていると認識した。



### 最近の主な議会活動(4月~6月)

日	曜	
1	金	小中学校職員異動に伴う辞令交付式
3	日	消防団入退式
5	火	議会だより編集会議
8	金	議員例会・説明会 白岩地区果樹園視察
13	水	白石町商工会青年部通常総会
15	金	議会だより編集会議
22	金	白石地区いちごトレーニングファーム第2期生研修終了式並びにしろいし農業塾第4期および白石地区トレーニングファーム第4期研修生入校式
25	月	県内市町議長会議
27	水	六角地区地域づくり協議会設立準備委員会
28	木	佐賀地区建設関係合同期成会総会

日	曜	
10	火	議員例会・説明会 文教厚生常任委員会所管事務調査 杵島地区衛生処理組合議会臨時会
11	水	総務常任委員会所管事務調査
19	木	議会運営委員会 臨時議会 産業建設常任委員会所管事務調査 SAGA2024国スポ・全スポ白石町実行委員会総会

日	曜	
23	月	筑後川土地改良事業杵島地区推進協議会総会 南部地区小児時間外診療センター運営協議会 青少年育成町民会議理事会
25	水	白石町文化振興財団評議委員会
27	金	議会運営委員会

日	曜	
1	水	社会福祉協議会理事会
3	金	町内5私立保育園より要望書提出対応
6	月	建設業組合より要望書提出及び寄付贈呈
7	火	6月議会定例会、開会
8	水	議案審議 議案審議
13	月	一般質問(4人)
14	火	一般質問(4人)・閉会・議会だより編集会議
17	金	社会福祉協議会評議委員会
18	土	青少年育成町民会議総会
20	月	白石町防災会議 戸ヶ里地区より要望書提出対応 白石町防災会議
22	水	六角地区地域づくり協議会設立準備委員会
24	金	杵藤地区町村議長会定期総会
28	火	議会だより編集会議
30	木	政経セミナー



## 要望書を受け取りました

### ●町立あかり保育園の運営継続に関する要望

提出者 白石町私立保育園有志の会  
代表 天野幸久

### ●建設産業の安定と担い手の確保・育成に関する要望

提出者 白石町建設業組合  
代表 会長 溝口隆治

### ●町道戸ヶ里中央線及び町道戸ヶ里南北線の安全対策に関する要望

提出者 戸ヶ里区長 高尾宏美

## 編集後記



この「議会だより」は、町執行部が発行する「広報白石」と目的が違い、内容が違う必要があります。

議会は、町民に代わって町政を議論・決定する機関です。町長以下執行部は、町民に対して町政を執行（実行）する機関です。

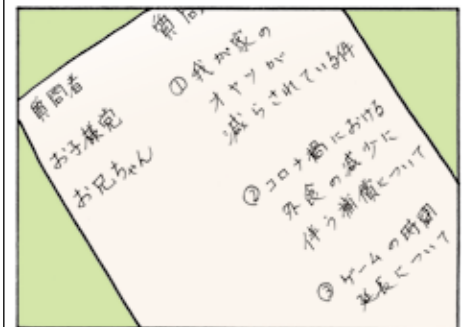
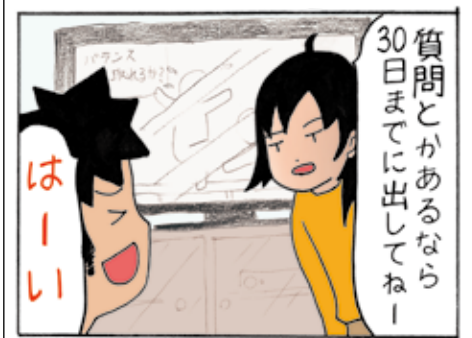
だから、「議会だより」は、議会が町事業のどこを、どのように議論し決定したのか、お知らせする必要があります。「広報白石」が、決定した町事業の内容をお知らせするのは、目的・内容が違ふと考えます。

それで、前回号から、議会視点で課題の特集記事を作成することにしました。お堅い話ですみません。（吉岡）

# 議会戦隊 炊飯ジャー

作: Sachiemon

## 第33話「質問通告書」



### ※質問通告書とは

議員が本会議で発言を求める場合あらかじめ議長に発言の主旨などを文書をもって告知知らせることをいいます。



## 白石町議会だより/第69号

発行/白石町議会 佐賀県杵島郡白石町大字福田1247-1  
TEL 0952-84-7126 FAX 0952-84-6611

編集/議会広報特別委員会  
責任者/白石町議会議長片淵栄二郎

広報委員 委員長 定松弘介  
副委員長 友田香将雄  
委員 中村秀子 重富邦夫 岸川信義 吉岡正博